159自治体を含む3,771名のタバコ対策担当者様、

EBTC会員、名刺交換・講演・原稿依頼をされた方へ 3201-3771  
　　　産業医科大学　大和より（転送・拡散・紹介歓迎。不要の方は「不要」とお返事下さい）  
  
１）新幹線「のぞみ」での受動喫煙・三次喫煙  
　ある方から「新幹線の喫煙室から戻ってきた人が隣に座って非常に臭かった。  
　受動喫煙・三次喫煙の被害を受けたが、どのように区別すれば良いか？」と質問がありました。  
　東京以北の新幹線は喫煙できる場所が一切ない100％禁煙ですが、  
　南へ向かう「のぞみ」には3号車（博多寄り）、7号車（東京寄り）、  
　10号車（グリーン、東京寄り）、15号車（博多寄り）に喫煙室があります。  
　そのため、喫煙者が隣に座ると受動喫煙と三次喫煙の被害に遭うことになります。  
　以下の様に回答しました。  
　　肺は４〜５リットルほどの容積があり、喫煙すると煙で肺が満たされる。  
　　１回の呼吸量は500ml、喫煙終了後、約30呼吸ほどに煙が呼出される。  
　　１回の呼吸は5秒＝約150秒ほど。  
　　喫煙室から出て、すぐに隣に座られると、肺に残っていた煙による受動喫煙が発生。  
　　その後、口腔〜気管支粘膜に付着したタールの粒子から発生するヤニの臭いが三次喫煙。  
　　  
　「のぞみ700系」が運行される前は、喫煙車両から離れた禁煙車両を利用すれば  
　タバコ臭を感じること無く出張ができていました。  
　ところが、「のぞみ700系」は喫煙者がどこに座るか分かりません。  
　自衛手段として自由席をとり、臭い人物が隣に来たら移動するしかありません。  
　東京から南へ走る新幹線の切符を買う際には「不快的な移動を強いられる」と  
　毎回、クレームを入れておりますが、一向に改善されません。  
  
スライドのダウンロードはこちら  
<https://www.dropbox.com/s/dfuu9j2k52i51fr/210611_%E6%96%B0%E5%B9%B9%E7%B7%9A%E3%81%A7%E3%81%AE%E5%8F%97%E5%8B%95%E5%96%AB%E7%85%99.pptx?dl=0>



喫煙後の肺の中から煙が出続ける動画はこちら  
<https://www.dropbox.com/s/5yum8k1xfdt2dxz/SHS-CD-Bless.mov?dl=0>  
　  
２）KOOLはFOOL  
　産業医大の卒業生向けのコミュニティ誌に連載している原稿を転載します。  
ネットで「最強メンソールKOOL！グローハイパー『クール・エックス・ネオ』」を見ました。  
<https://tabanavi.com/glohyper-kool-neo-review/>



　グローハイパーは高温加熱タイプ（通常時：250℃、ブーストモード：260℃）です。  
　ニコチンは沸点が247℃ですから十分なニコチンが摂取できます。  
　１箱480円、6月7日より全国販売、とのこと。  
　「大和が新製品のコマーシャル？」と思われた方も居ると思います。  
　この記事を紹介したのは、「KOOL」のパロディポスターを新居浜市の世界禁煙デーイベントで  
　撮影していたのを思い出したからです。  
　タバコ製品を使っている人に「FOOL（おばかさん）」と教えてあげましょう。



@@@@@@@@  
807-8555　福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1　ダイヤルイン：093-691-7473  
産業医科大学　産業生態科学研究所　健康開発科学研究室　大和　浩  
タバコ対策：<http://www.tobacco-control.jp/>  
３日経っても返信がない場合、リマインドメールをお願い致します。  
無煙ニュース：<https://www.mag2.com/m/0001691332>  
禁煙の教科書：<https://workplace-kinen.t-pec.co.jp/>  
企業の喫煙対策マニュアル：<https://workplace-kinen.t-pec.co.jp/list/detail/id=336>  
肺の寿命の延ばしかた：<https://www.jrs.or.jp/uploads/uploads/files/citizen/hainojumyo.pdf>